

令和6年度危機管理対応訓練の実施結果について

1 災害対策本部運営訓練

(1) 目的

大規模災害が発生した場合、特に、区内の被害状況は、災害対応関係機関における応急対策等の具体的な活動を展開する上で欠かせない情報となる。そのため、発災直後の区内の被害状況を迅速に把握する流れを確認し、災害対策本部の機動的な初動態勢の確立を図る。

(2) 訓練内容

勤務時間中に大規模災害が発生したことを想定し、災対本部事務局に地域の被害状況の収集に当たるチーム（以下「機動班」という。）を編成の上、各地域活動センター管轄内のハザードリスクや付与情報に基づく状況等を確認した。

また、機動班からの報告に基づき、災対情報部において、区内の被害状況等を整理するとともに、災対本部事務局で必要な応急対策の検討を行った。

(3) 実施日時

令和6年12月18日（水）13時00分から16時30分まで

(4) 訓練参加者等（76人）

ア 副区長（副本部長）	1人
イ 災対本部事務局編成員のうち指定する職員	52人
ウ 災対情報部編成員のうち指定する職員	13人
エ コントローラー、検証者等 （区長・危機管理室長・消防署・警察署等）	10人

(5) 訓練参加者の意見・感想

ア 災対本部事務局（機動班を含む）

- ・ 発災初期は情報量が多く、その優先順位を判断することが難しいと感じた。
- ・ 発災時こそ5W1Hに基づいた正確な情報伝達や情報管理が課題になると感じた。
- ・ 防災関係機関との定時的な連絡確認等、連携することを常に念頭に置く必要がある。
- ・ 被害状況を想像しながら区内を回ったことで、今後区内を歩く際にも災害が起きた際の回り道や、被害が起きそうな場所を考えるきっかけとなった。
- ・ 被害状況をいかに正確に簡潔に伝えるかの重要性を認識できたが、その難しさも痛感した。

イ 災対情報部

- ・ 発災直後のタイミングだと、災対情報部の中のどのセクションが忙しくなるのか、どの程度の人員が必要なのかということを感じてイメージできたことは大きな成果だった。
- ・ 集約した情報の整理・管理が十分にとれるような体制・事前準備が必要である。
- ・ 情報管理表に書き込む内容のレベルに差があったり、他者が読めるように文章を整理することに時間がかかったりする。記載する内容や項目をフォーマット化し、空欄を埋めていくようなスタイルでも良いと思う。

2 災害対策本部編成員参集訓練

(1) 目的

首都直下地震等が発生した場合においても、非常時優先業務を適切かつ確実に実施する態勢を確保できるよう、災害対策本部編成員を対象として、参集訓練を実施する。

(2) 訓練内容

訓練対象者が職員参集システムにより安否状況及び参集状況を報告の上、自宅から参集場所まで、徒歩により参集した。また、各自の勤務場所到着後、災害情報システムにより被害情報等の入力を行った。

(3) 実施日（指定日）

令和6年10月22日（火）、30日（水）、11月7日（木）、15日（金）、21日（木）、27日（水）、12月3日（火）、9日（月）、17日（火）、26日（木）

※ 指定日に実施が困難な職員は、令和6年10月15日（火）から12月27日（金）までの任意の勤務日を代替日とする。

なお、指定日に実施が困難な職員は、令和7年3月31日（月）までの任意の勤務日を代替日とする。

(4) 実施時間

勤務開始時間から参集場所到着まで（最長1時間まで）

(5) 訓練対象者

令和6年度災害対策本部編成員 985人

※ 臨時災害対策本部編成員及び令和4年度又は令和5年度における臨時災害対策本部編成員参集訓練実施者は除く。

(6) 訓練参加者の意見・感想

ア 職員参集システムについて

- ・ 何度か参集システムを使用していたので、操作に困ることなく、自分の被害状況・参集時間を送信することができた。未回答時にリマインドが届くのがありがたい。
- ・ LINEやメールなど、複数の手段に対応している点が良い。

イ 災害情報システムについて

- ・ 一通りマニュアルを見て画面を見てみたが、実際の災害の際にしっかり使用できるか不安があるので、システム等の研修やテスト的に入力等ができる機会があれば良いと思った。

ウ 参集訓練について

- ・ 定期的に訓練を実施することが重要であると、改めて実感した。
- ・ 将来、必ず起こる災害に対応するため、今回のような訓練を実施することは非常に有意義であると感じる。常日頃に通る道であっても、訓練という意識で通行したからこそ、気付くことができた点もあった。
- ・ 雨が降ると予想されていたが訓練日を変更せずに参加し、実際は小雨の中で傘を差しながらの歩きだったが、無事に到着できて良かった。通勤時間帯で人が多く歩いている道とそうでない道も知ることができた。本当の災害は参集場所に到着してからが勤務なので、これで疲れては駄目だと実感している。